## 【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出日】 平成24年6月28日

【事業年度】 第14期(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

【英訳名】 Parking Management Organization, Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 柳 瀬 聰

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区渋谷三丁目6番地6号 渋谷パークビル2階

【電話番号】 03 - 3406 - 2477 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員経営管理本部長 加 藤 隆 行

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区渋谷三丁目6番地6号 渋谷パークビル2階

【電話番号】 03 - 3406 - 2477 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員経営管理本部長 加 藤 隆 行

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年6月28日に提出いたしました第14期(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

- 1 連結財務諸表等
  - (1)連結財務諸表

注記事項

連結株主資本等変動計算書関係

3 新株予約権等に関する事項

デリバティブ取引関係

2.ヘッジ会計が適用されているもの

#### 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

# 第一部【企業情報】

## 第5【経理の状況】

- 1【連結財務諸表等】
  - (1)【連結財務諸表】

【注記事項】

- (連結株主資本等変動計算書関係)
- 3 新株予約権等に関する事項

## (訂正前)

4 +1 -		目的となる		目的となる株	株式の数(株)		当連結会計	
会社名	内訳	株式の種類	前連結会計 年度末	増加	減少	当連結会計 年度末	年度末残高 (千円) 10,470	
提出会社	平成21年新株予約権	普通株式	4,487 (38)	<u>5,983</u> (2)		10,470 (40)	10,470	
	合計		4,487 (38)	<u>5,983</u> (2)		10,470 (40)	10,470	

- (注) 1 ()内の数字は自己新株予約権の個数であります。
  - 2 ストックオプションの新株予約権及び自己新株予約権は、権利行使期間の初日が到来しておりません。
  - 3 自己新株予約権の株式の種類は全て普通株式であり、当期末残高は0円となっております。

#### (訂正後)

A +1 =		目的となる		目的となる核	株式の数(株)		当連結会計
会社名	内訳	株式の種類	前連結会計 年度末	増加	減少	当連結会計 年度末	年度末残高 (千円)
提出会社	平成21年新株予約権	普通株式	<u>5,536</u> (38)	(2)	<u>40</u> ( - )	<u>5,496</u> (40)	10,470
	合計		<u>5,536</u> (38)	(2)	( - )	<u>5,496</u> (40)	10,470

- (注) 1 自己新株予約権については、(外書き)により表示しております。
  - 2 ストックオプションの新株予約権及び自己新株予約権は、権利行使期間の初日が到来しておりません。

#### (デリバティブ取引関係)

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

2 ヘッジ会計が適用されているもの

ヘッジ会計の方法ごとに連結決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額は、次のとおりです。

#### (訂正前)

ヘッジ会計の	つ デリバティブ取	主なヘッジ	契約金額等		時価	当該時価の
方法	引の種類等	対象		うち 1 年超	h孔IM	算定方法
金利スワップの特例処理	金利スワップ取 引 支払固定・ 受取変動	長期借入金	<u>290,860</u>	<u>260,940</u>	(*)	-

<sup>(\*)</sup> 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている長期借入金と一体として処理されているため、その時価は、当該長期借入金の時価に含めて記載しています。

## (訂正後)

ヘッジ会計の 方法	デリバティブ取 引の種類等	主なヘッジ 対象	契約金額等	うち1年超	時価	当該時価の 算定方法
金利スワップの特例処理	金利スワップ取 引 支払固定・ 受取変動	長期借入金	97,500	87,500	(*)	-

<sup>(\*)</sup> 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている長期借入金と一体として処理されているため、その時価は、当該長期借入金の時価に含めて記載しています。